

## 市長定例記者会見 概要

■日時：令和元年 8 月 22 日（木） 午前 11 時 00 分から午前 11 時 37 分まで

■場所：市庁舎 5 階第 4 会議室

■相手方出席者：神奈川新聞社、東京新聞社、ジェイコム湘南・神奈川、  
タウンニュース社

■市側出席者：市長 桐ヶ谷 覚、副市長 柏村 淳、経営企画部長 福井 昌雄、  
総務部長 田戸 秀樹、市民協働部長 芳垣 健夫、環境都市部長 石井 義久、  
教育部長 山田 隆

■陪席者：経営企画部次長 福本 修司、広聴広報係長 西 久美子、  
広聴広報係主任 稲井 麻美

### ■配布資料

- ・逗子市プレスリリース「令和元年逗子市議会第 3 回定例会の招集について」
- ・逗子市プレスリリース「初開催 逗子旅カレンダーフォトコンテスト」  
チラシ 逗子旅カレンダーフォトコンテスト
- ・チラシ 第 62 回逗子海岸花火大会 協賛シート・エリア受付中！
- ・逗子市プレスリリース「図書館の開館時間変更と図書返却ポスト（ブックポスト）の  
設置について」
- ・逗子市プレスリリース「逗子市 初の保育士のための保育フェアを開催」

■内容：下記のとおり

#### 【経営企画部次長】

定刻になりましたので、定例の逗子市長記者会見を始めます。まずはじめに、市長から  
発言させていただきます。

#### 【市長】

○令和元年 逗子市議会 第 3 回定例会の招集について

本日、令和元年第 3 回市議会定例会の招集告示をいたしました。

案件は、お手元のプレスリリースにあるとおり、4 件の報告、15 件の議案を予定して  
います。

本議会では平成 30 年度の決算を審議いただきます。

健全化判断比率及び資金不足比率について報告いたしますが、全ての数値が健全であり、  
早期健全化基準及び経営健全化基準には該当しませんでした。

主な議案の説明をします。

議案第 45 号 令和元年度逗子市一般会計補正予算

歳入歳出とも、1億3,729万円を増額するものです。

歳出予算の補正の主な内容を説明します。

- ① 放課後児童クラブの待機児童対策として実施する新規参入事業者に対する運営費補助に要する経費として放課後児童クラブ事業160万円を増額するものです。
- ② 再生エネルギーを活用する事業の実現可能性調査に要する経費として温室効果ガス削減事業1,000万円を増額しました。これは、一般社団法人地域循環共生社会連携協会から補助を得て実施するものです。
- ③ 市道新宿65号、ロードオアシスのところですが、これに隣接する民有地の崖崩落について、現在仮設防護柵を設置しているところです。この度、道路災害復旧工事を行うため、国より道路災害復旧費負担金を得て、道路改良事業1億1,521万2,000円を増額しました。
- ④ 久木小学校区における登下校時交通整理業務に要する経費として学校支援地域本部事業48万8,000円を増額しました。

歳入予算の補正については、国県支出金及び繰越金のほか所要の財源を措置するものです。

議案につきましては、以上の説明とさせていただきます。

その他に、5点皆様にお知らせします。

#### ○逗子旅カレンダーフォトコンテストについて

逗子市の魅力を写真で伝えるカレンダーを制作します。カレンダーで使用する四季折々の写真を募集します。

テーマは「逗子旅」です。海、山、街並みなどの、逗子市の風景の写真を募集します。

募集期間は9月1日から30日まで、どなたでも応募いただけます。

カレンダー賞12点、入賞4点を用意し、全入賞者の作品を掲載したカレンダーを制作し、副賞は逗子市ふるさと納税人気返礼品を予定しています。

カレンダーの発売は11月末から12月に予定しています。

#### ○海水浴場の概況について

海水浴場開設期間は9月1日までですが、途中経過として、海水浴場の状況をお知らせします。

8月17日現在の海水浴客数は280,300人で、昨年度と比較して30,100人、9.7%の減となっております。最終予想は、約334,000人、昨年度比較で30,000人減です。

6月28日の海開きをしました。昨年は6月29日の海開きの日に梅雨明けでしたが、今年は7月末まで梅雨明けが発表されませんでした。また、お盆時期の台風10号の影響もあろうかと思えます。

レジャーの多様化、猛暑等による海水浴離れと言われていますが、何よりも天候の不順

が一番の要因と考えます。

ウォーターパークなどの子ども向け企画も人気が高かったのですが、今現在は休止しています。台風の影響でロープが切れ、補修に手間取っており、今週末に回復するかどうか際どいところです。海の最後はウォーターパークで盛り上げられればと思います。逗子海岸営業協同組合の皆さんの努力は評価しますが、天候には勝てないという実態です。

#### ○第 62 回逗子海岸花火大会について

例年は5月、6月に開催していましたが、葉山港に台船を着けることができなかったため、今年は海水浴場を終えてから、9月27日に開催します。27日の19:15から20:00まで、時間も例年は19:30から20:15までという時間帯でしたが、日暮が早いので15分早めています。例年どおり約7,000発の打ち上げを予定しています。

現在、1,500万円以上の開催費用を実行委員会が集めています。順調ではありますがもうひと踏ん張り必要といったところです。

法人協賛、募金箱の設置、サポーターズリストバンドの販売、一般向け協賛シート及びエリアの受付などにより、7月10日現在、約500万円が集まっています。

一般向け協賛シートとして販売している波打ち際シートは1.8m四方で6人まで座れます。

リストバンドの協賛をいただいた方がシートを購入する場合は、12,000円の席が10,000円になります。500円のリストバンドで2,000円の割引になるわけですが、お得感を出したいという実行委員会の考えです。

#### ○図書館の開館時間変更とブックポストの設置について

10月から、試行的に図書館の開館時間を拡大します。また、図書返却ポスト（ブックポスト）を3か所（4台）設置します。

図書館の開館時間については、現在、試行的に月曜日と金曜日を午後6時閉館としていますが、試行的に午後7時閉館とし、時間拡大を図ります。市民から曜日ごとに閉館時間が違うのは分かりにくいというご意見をいただいていたため、平日は午後7時、土日は午後5時までとしました。

開館時間の拡大により、学校、会社帰りの方も含め、より多くの方に図書館をご利用いただけるものと考えています。

なお、昨年度は、年間入館者数が47万人を超え、先般新聞に、図書貸出数が県内でもトップという大変誇らしい記事も出させていただきました。

図書返却ポスト（ブックポスト）の設置につきましては、図書館利用者の要望も多く寄せられており、利便性向上を目的にJR逗子駅構内に2台とJR東逗子駅、逗子市役所正面出入口横にそれぞれ1台を設置します。

平成 29 年度までは、京急新逗子駅にも設置していましたが、今回は設置を見合わせ、その代わりに市役所正面出入口横に設置することで、通勤、通学、市役所来庁時などに幅広くブックポストをご利用いただけるものと期待しています。

市役所正面出入口横に設置するブックポストは、複数の市内事業者から構成されている「逗子市立図書館の返却用ブックポストを寄贈する会」からご寄贈いただいたものを設置します。

#### ○保育士のための保育フェアについて

各自治体が保育施設の整備を加速度的に進めたことなどにより、保育士の不足が年々深刻化しています。

市内では、民間保育所は正規職員の採用にも窮しており、公立保育園も非常勤の保育士の採用予定数を採用できていません。幼保無償化が 10 月からスタートし、市民の皆さまからのご要望も大変多いのですが、保育士の数によりお預かりできる児童の数が決まるという状況で、各市町村においても保育士の確保が最大の課題となっています。

9 月 6 日（金）、7 日（土）に、逗子市役所 1 階市民ホールで、逗子市初の保育士のための保育フェアを開催します。両日とも午前 9 時から午後 4 時 30 分までです。

来年度保育士養成校を卒業予定の方、保育士資格を所持しているものの保育士として就労していない「潜在保育士」の方を対象に、市内の認可保育所 7 園（公立 2 園、民間 5 園）が各々ブースを作り、各園の保育について魅力や特色等を発信します。

各園の特色等も理解でき、保育士として働くことの素晴らしさに触れたり、ブースを訪れた方は保育士として働くことの不安について質問等もできます。

園ごとに園の目標や保育理念などの掲示、写真や園児の作品などの展示、また、プロジェクターを使い、園での活動の様子を動画で紹介する等の予定です。各保育園の会議の中からこの案が生まれたということで、大変素晴らしいことだと考えています。

「子育てしやすいまち逗子」という標語は保育士の方々の協力が無くては出しにくいので力を入れていきたいと思っています。私も時間の許す限り PR に努めたいと思います。

私からは以上です。

#### 【経営企画部次長】

それでは、質疑をいただければと思います。

記者) 再生エネルギーを活用する事業について、どういう分野の再生可能エネルギーなのか、また、実現するとしたらどういうところに使われるのでしょうか。

市長) 地域電力を活かしていくための市場調査を考えています。逗子に企業誘致をする、もしくは創業、起業する人たちを引き込むためにもひとつの考えとして地域電力の調査を

しようということです。

記者) 地域電力について、民間とか企業が各地にありますけど逗子にもあるのですか。

市長) 全くないです。

記者) 調査をして市で何かというよりも民間の動きを促すということですか。

市長) そうです。そこから市場性があるという判断が出来た場合は、この地域の中で地域電力がまちおこしにつながっていけばと考えておまして、まず最初に可能性があるのかないのかをしっかりと調査するための施策です。

記者) 再生可能エネルギーの種類はさまざまありますが、見当はつけているのですか。

市長) ある程度はついていますが、かなり複雑な電力の調達方法がありますので、よその電力を買って流すとか、ガス会社が電力に入ってくるとかさまざまありますが、そこを含めて逗子の中に可能性があるかないか調べるところからスタートしたいと考えています。

記者) 今の件について、行政が市場調査をすることの意味はあるのですか。それを調べて民間の誘致を促すということなのでしょうが、民間事業者としては自らが出て行って調べるといったイメージがあるのですが、行政がやる意味は何でしょうか。

市長) これは補助の関係で行政から申請をするということになっています。それに対する要望もありました。

記者) 地域電力を起こすために、行政から補助金がもらえるわけですね。

市長) そうです。

環境都市部長) いま補助という話がありましたが、環境省の補助事業ということでして、実際に補助事業を実施しているのは環境省から請け負っている社団法人です。環境省の補助事業ということでその補助をいただいて、環境省の勧める地域資源の活用による社会作り地域づくりという中でこの取り組みを進めていくという趣旨です。その国庫補助を市でいただいて地域で活用するということです。

記者) 調査の用途はあるのでしょうか。太陽光のパネルを置けるところがあるとか、川が

あるのでマイクロ発電だとかを逗子で作れるかどうかを調査するというのでしょうか。

環境都市部長) 補助事業自体も地域でそういった事業が実現可能かどうかを調査するためのものですので、可能性を含めて検討をしてみたいと思います。

記者) 先程の海水浴場についてですが、8月15日時点で昨年度比9.7%の減ということですか。

市長) 8月17日現在です。

記者) 7月はかなり涼しい日が続いていましたが、7月だけでは出していないですか。

市民協働部長) 手元に数字を持ち合わせていないため、後程ご連絡いたします。

(※注 6月7月で△49,000人 前年比約63% (約37%減) と回答しました。)

記者) 隣の由比ヶ浜は8月上旬で8割減とおっしゃっていました。天候不順やウォーターパークの使えない時期があったりしましたが、もう一度今年の海を振り返って市長の所感をお聞かせください。

市長) この事業は天気が全てですが、逗子海岸営業協同組合の人たちも力を合わせて運営していて、一体感を感じます。ウォーターパークが呼び込みの大きな動機付けになっておりますが、先日のとしまえんの事故のように、ライフジャケットを着けていても残念ながら事故が起こってしまうという危険性をはらんでいますので、安全には最大限注意を払っています。一日に10回、45分サイクルで開催されますが、10回とも満員の120人だった日があったというくらい定着してきていると思います。海開きのときにウォーターパークに入りましたが、子供達にはおもしろい、楽しみがいのある遊具だと思いました。何よりも安全を期して運営していただきたいと思います。

記者) としまえんのプールの件について、ウォーターパークに対して人に来ていただきたいという話がありましたが、監視員を増やすなどの対策をとる予定はありますか。

市民協働部長) ウォーターパークについては専任のライフセーバーがおりますので、人数を増やす予定がありませんが、より注意して状況を見るという話をしています。

記者) 今日、横浜市でIRの誘致について横浜市長が会見をされ、補正予算を表明するという報道が出ていますが、市長ご自身は隣接地でカジノの施設ができることについてどの

ような所感を持っていらっしゃるのかということと、市長ご自身の考えとして I R はぜひという考えなのでしょうか。

市長) 難しい質問で軽々に発言できないかなと思いますが、まちを賑やかにしていく、元気にしていくという問題とさまざまな弊害というものもありますので、他市の首長が今回の件についてコメントするというのは差し控えさせていただきたいと思います。

記者) そもそも一般論として I R そのものについて市長はどのようにお考えですか。

市長) 相当吟味して考えなければいけない難しい問題だと思います。

記者) これまで海外にご旅行されたところでカジノの経験はありますか。

市長) アメリカの方に行ったときはそういう場所に宿泊しますので経験はあります。海外に行った際に、ラスベガスのようなところで旅行の思い出に楽しむという程度のことです。

記者) 保育士について事前の周知が大切かもしれませんが、対象になる人がどれくらいいて、どれくらいの人に来てもらえればいいのかというのはありますか。

市長) 逗子で働きたいという思いをどう持っていただけるかということです。先般、ある新聞に逗子の保育園が掲載されたら、他市の方から応募がありました。情報をどう出すかが大事で、保育士の方々も自分の思いと園の方針が一致するところで働きたいという思いは大きいと思います。自分の仕事に対する思いを強くお持ちの方々なので、園の方針や環境など、興味をひくような企画は市をあげてやるべきだと思います。

教育部長) 30 人、40 人と来ていただき 10 人程度が試験を受けてくれれば逗子の保育士不足は解消されるかと思っています。東京都、横浜市と比較すると給料等の金額に違いがあります。ただ、面接をすると保育士という職業に魅力を感じて働いていますので、自分のやりたい保育が東京ではできないという話も聞きます。このフェアが非常に有効的であり、何十人かきていただければ非常に助かると思っております。

市長) 鎌倉にある大学の保育科の卒業予定者 170 人への募集が 3 万人になります。保育士をいかに確保するかによって保育行政が決まってしまうという、大きな問題であると感じています。

**【経営企画部次長】**

以上で記者会見を終了します。どうもありがとうございました。